

## AIを適用した意思決定マネジメント研究会開催のご案内

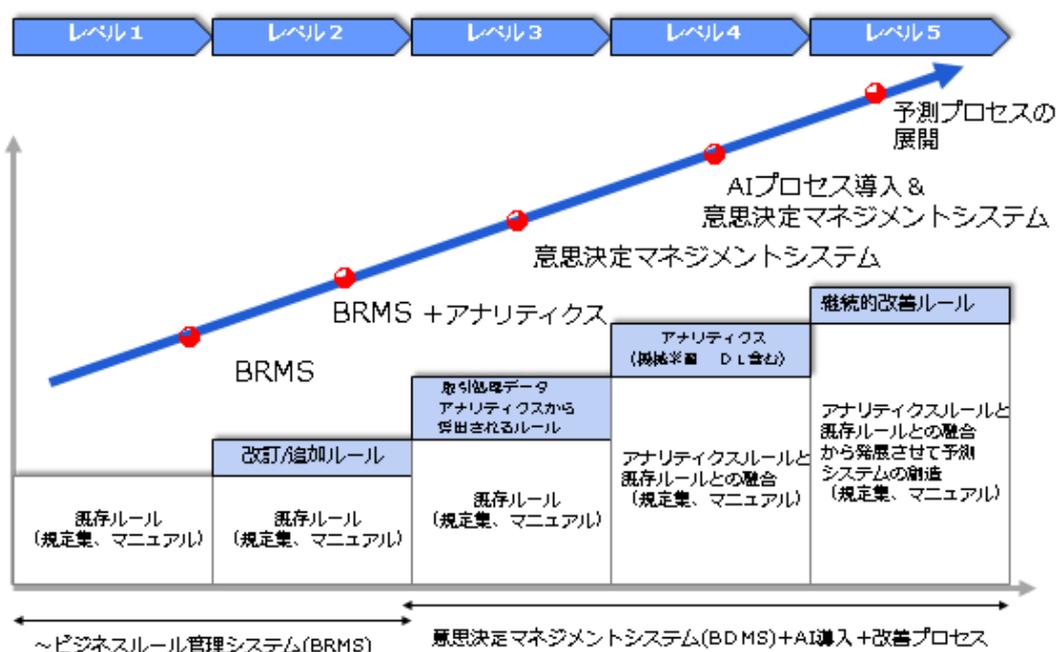
### ■ 研究会名称

AIを適用した意思決定マネジメント研究会

(副題) データ、ルール& アナリティクス用途のAIアプローチで課題を解決

### ■ 分科会活動の狙い

・意思決定マネジメントシステムは、下図の通り、規定集やマニュアルのルールを自動化したBRMS（ルールマネジメントシステム）からスタートし（レベル1、2）、データを分析して継続的に改善するアプローチが生まれレベル3）、さらにはこれまで入手が困難であった膨大なデータ（ビッグデータ）を解析し、これにAIプロセスを導入して新たな洞察を加え、リアルタイムに判断し、予測展開ができるように（レベル4、5）進化してきました。



・その結果、意思決定マネジメントを構成している技術（ルールエンジン、アナリティクスと最適化）と継続的な改善プロセスが、どの分野に、どのように適用できるか、そのもたらす効果と影響について具体的に理解しようと考えているユーザの動きが出てきています。

・かかる状況を踏まえABC協会では、ブレイズ・コンサルティング（株）・酒匂様、（株）MBI・成田様と連携し、ビジネスルール管理システム（BRMS）から意思決定マネジメントシステム（BDMS）に展開する各レベルについて学習する研究部会を開催することと致しました。

当研究会には、これからビジネスルール管理システム（BRMS）に取り組む企業の方にも、既にBRMSは採用していて更にレベルアップしたい企業の方にもご参加いただけます。

・アナリティクス用途のAIソリューションについては、予兆発見、予測制御、ターゲティング、リスクヘッジ等の分析シナリオに分類し、適用事例とその効果を学習し、参加者の自社事業への適用検討が効率的に進められることを目的とします。

## ■ 講師・アドバイザー（略歴は後述）

- ・ブレイズ・コンサルティング株式会社 代表取締役 酒匂秀敏（AI&ルールエンジン）
- ・株式会社 MBI 代表取締役 成田徹郎（BI/BSC 担当）

両氏は、1990年代前半よりエキスパートシステム、ビジネスルールエンジン、アナリティクス活用の AI ソリューションの適用について、金融系、製造系、医療系等の分野でマーケティング、開発・適用・導入と幅広く取り組んでいる。

## ■ 教材

毎回の研究会アジェンダに基づきスライドベースと参考資料（一部英語）を準備

- ・アジェンダ毎の資料
- ・欧米の事例、有識者のレポート
- ・分析シナリオ類型シート
- ・マイニングと意思決定マネジメントシステム（white paper）他

## ■ 募集人数、参加対象

### （1）参加人数

15人～20人

### （2）参加対象

- ・AIを適用した意思決定マネジメントに取り組もうとしている企業
- ・ルールエンジン、アナリティクス用途のアプローチ、最適化プロセスを学習されたい企業
- ・業務プロセスのデジタル化を推進し、顧客経験の共創の実現を検討・企画されたい企業

## ■ 参加費用

- ・ABC会員企業、ブレイズ・コンサルティング（株）及び（株）MBI 顧客企業  
5万円/人（消費税別）
- ・上記以外の企業  
6万円/人（消費税別）

## ■ 開催日程、時間

次の日程で計画中（原則として第3火曜日、12月は休会）

- |         |           |         |        |
|---------|-----------|---------|--------|
| (2017年) | 10月17日（火） | 15時～18時 |        |
|         | 11月21日（火） | 15時～18時 |        |
| (2018年) | 1月23日（火）  | 15時～18時 | ←第4火曜日 |
|         | 2月20日（火）  | 15時～18時 |        |
|         | 3月20日（火）  | 15時～18時 |        |

## ■ 開催場所

通常は、アイオス五反田 2階会議室

東京都品川区東五反田1-10-7 アイオス五反田

[http://www.abc-a.jp/seminar/map\\_aios.pdf](http://www.abc-a.jp/seminar/map_aios.pdf)

## ■ 進め方

### □ 第1回（10月） 意思決定ファーストの考え方

- ・意思決定マネジメントシステム出現の背景と構成テクノロジーの基本理解について
- ・仕様や実装に焦点を当てる前に、意思決定の特定、設計、モデリングアプローチの紹介
- ・対象とする意思決定の特性を実例で理解する

繰り返し、アクション指向、仔細なものでない意思決定、測定可能

- 第2回（11月） 意思決定の明示的なデザイン
  - ・意思決定の基本メカニズム（トップダウン意思決定方式）の理解について
  - ・OMGの「意思決定モデルと表記法」の標準仕様の理解
  - ・解析された事例モデルのモデリングの理解
- 第3回（1月） 意思決定マネジメントテクノロジーの活用
  - ・ルールエンジン活用のロジック管理、アナリティクス用途による機械学習の活用とシミュレーションによる最適な代替案選択のアプローチ
  - ・分析シナリオ型の概要、目的、効果、方式と事例の学習
  - ・経時的なPDCA改善プロセスアプローチについて
- 第4回（2月） 意思決定マネジメントシステムへの展開
  - ・意思決定マネジメントシステム（スコアリングの事例、不正検知の事例、IoT適用事例）の学習
  - ・欧米の有識者レポートで、意思決定マネジメントシステムの業界適用の動向について
  - ・最終回にむけての課題、QAについて
- 第5回（3月、最終回） 意思決定マネジメントシステム（BDMS）について
  - ・BDMSの特長（Agile, Analytics, Adaptive）の理解、開発アプローチの学習
  - ・参加者からのCase Study選択し、モデリング実践と発表
  - ・成果物についての事前レビュー

## ■ 参加のお申し込み

以下のお申し込みフォームからお申し込み下さい。

<https://transe.com/abc-seminar/brms.html>

（ABC協会の協力会社・有限会社トランスプロジェクトのサイトです）

お申込み締め切り： 10月12日（木）17時（定員になり次第締め切らせていただきます）

### 【アドバイザー略歴】

□酒匂秀敏氏

- ・ブレイズ・コンサルティング株式会社 代表取締役
- ・総合商社の情報産業部門を経て、1991年米国AI会社（ニューロンデータ社）の日本法人設立。
- ・その後商用ルールエンジン活用のCRMソリューションを銀行等に導入、初めて保険業界へのBRMS（ビジネスルール管理システム）の導入も実現し、現在は業務の自動処理のルールエンジンに加え、アナリティクス用途のアプローチとしてのAIソリューションを組み合わせた意思決定マネジメントシステム（BDMS）の導入を、データヘルス事業をICT推進協会（HIPA）やJMFI（日本マテリアルフロー研究会）のメンバーとして推進中。またIIBA（International Institute of Business Analysis）の認定教育コースを策定し、ビジネスアナリティクス向けのICT取り組みの支援で活躍中。日経BP社ITPro「IoT最前線」、日経デジタルヘルス、保険毎日新聞 等多数の寄稿あり。

□成田徹郎氏

- ・株式会社MBI 代表取締役
- ・日本IBMで39年間Business Intelligence分野のマーケティングを主に経験。
- ・経営TOPに対する戦略的なマネジメント手法（BSC：Balanced Score Card）の啓蒙活動を通し

た Solution Value である BI、DWH を位置付けてコンサルティングを含めたソリューションビジネスを推進している。また国際医療福祉大学大学院准教授として教鞭と院生指導、各種分析関連の研究に従事。

・専門分野は、BI ソリューションで、Operational CRM, Analytical CRM で AI が実現する On Demand Solution 対応で幅広い業界に対応して活躍。健康経営でのデータヘルス計画事業のヘルスケア ICT 推進会 (HIPA) の幹事として自治体や健保組合に対処した ICT の徹底活用を推進中でもある。日本ビジネスインテリジェンス協会常任理事、日本能率協会 (JMA) BSC コンソーシアム副代表幹事等を務め OR 学会 BI 論文寄稿等多数あり。